

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業299社、回答企業196社、回答率65.6%
調査対象期間	2019年7～9月期の実績、10～12月期および2020年1～3月期の予想
調査時点	2019年10月上旬～下旬

要約

2019年7～9月期の業況判断(季節調整済)は改善 先行き10～12月期は大幅に悪化する一方、明年1～3月期は改善の見通し

県内企業(全産業)経営動向調査結果によれば、業況判断BSI(季節調整済)について、2019年4～6月期と比べ7～9月期(前期→当期： $\Delta 11 \rightarrow \Delta 3$ (+8ポイント))は改善した。また、前回調査時の予想($\Delta 3$)と同じであった。過去(2004年7～9月期から2019年7～9月期の15年間)の業況判断BSIの平均 $\Delta 16$ と比べると、上回って推移している。業種別にみると、製造業(同： $\Delta 21 \rightarrow \Delta 21$)は横ばいとなった一方、非製造業(同： $\Delta 8 \rightarrow 4$)は改善した。消費税率引き上げ前の駆け込み需要もあって小売業を中心とする非製造業で改善したことが、全産業の改善に大きく寄与した。ただし、消費税率引き上げ前における改善幅は、前回2014年時(2013年10～12月期→2014年1～3月期： $5 \rightarrow 20$ (+15ポイント))よりも小幅である。

一方、売上げBSI(同： $7 \rightarrow 3$)はやや悪化、収益BSI(同： $4 \rightarrow \Delta 3$)は悪化した。

先行きの業況判断BSIは、10～12月期予想($\Delta 27$)が大幅に悪化する一方で、2020年1～3月期予想($\Delta 9$)は改善する見通しである。短期的には消費税率引き上げの影響を受け業況の悪化を見込む企業が多いものの、年明け以降はこの状況を引きずらず落ち着いた動きを予想する向きが多いことが示されている。

2019年7～9月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期と比べほぼ横ばいであったものの、総投資額は非製造業で減少したことから、同4.5%減の約252億円となった。先行き10～12月期の計画は、実施企業の比率は前年同期に比べほぼ横ばいだが、総投資額は同75.6%増・342億円の見込みである。また、明年1～3月期も、同25.0%増・290億円の見込み。

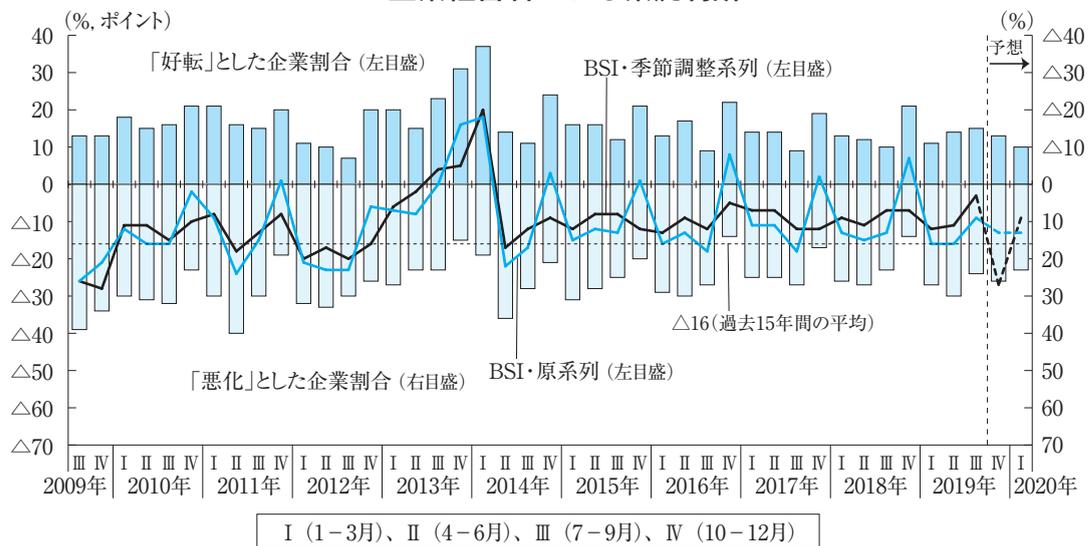
今後1年間の設備投資意欲については、前期と比べ、製造業、非製造業とも改善している。

1. 概況
(全業種)

【2019年7～9月期の実績】 業況判断は前期と比べ改善したが、前回の消費税引き上げ前に比べれば小幅

県内企業の当期(2019年7～9月期、以下同じ)のBSI(業況が「好転(増加)」回答した企業割合から「悪化(減少)」と回答した企業割合を引いた数値(季節調整済))をみると、前期と比べ、売上げBSI(7→3)はやや悪化、収益BSI(4→△3)は悪化の一方、業況判断BSI(△11→△3(+8ポイント))は改善した。前回2014年の消費税引き上げ時は大幅な駆け込み需要により大きく改善したが(業況判断BSI 2013年10～12月期→14年1～3月期:5→20(+15ポイント))、今回の駆け込み需要はそれよりも限定的であり、中でも製造業の業況判断BSIが横ばいで推移するなど、全体の改善幅は小幅であった。

企業経営者による業況判断

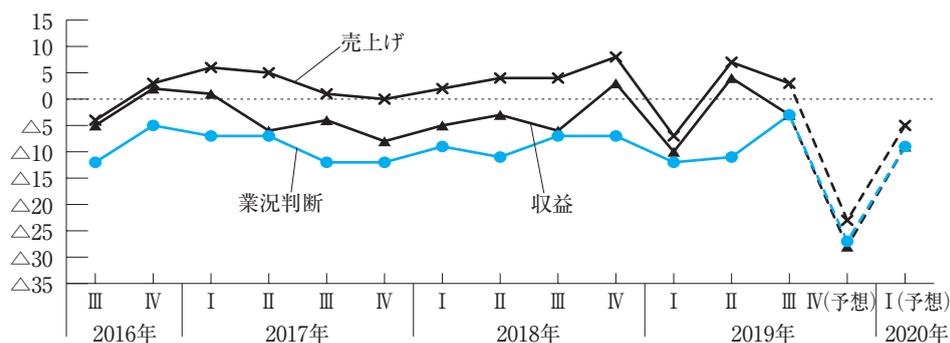


注：季節調整は、米国センサス局開発の X-12-ARIMA により実施

【2019年10～12月期・20年1～3月期の予想】 業況は10～12月期は悪化、1～3月期は改善

10～12月期の予想は、7～9月期に比べ売上げBSI(3→△23)、収益BSI(△3→△28)業況判断BSI(△3→△27(△24ポイント))はともに悪化する見通し。前期の駆け込み

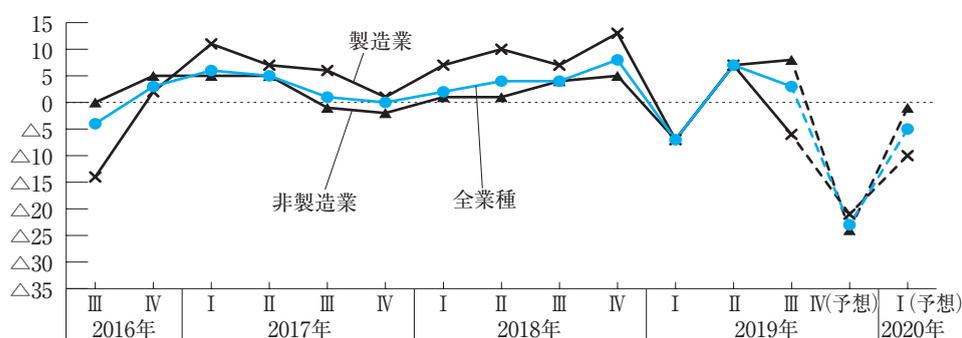
全業種 BSI



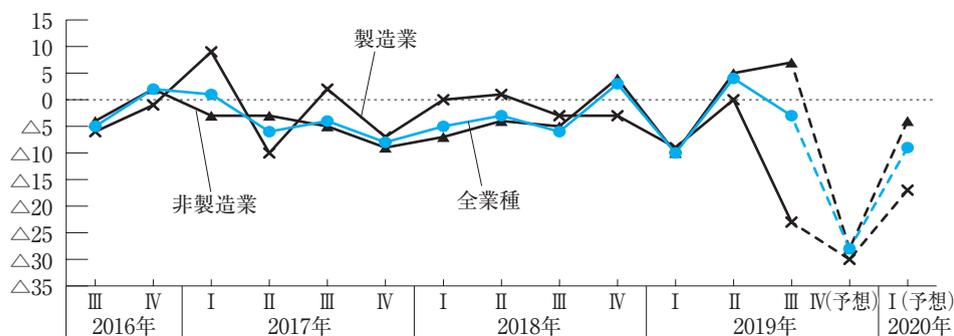
け込み需要の反動減を見込む企業が多いことが現れている。もっとも、前回の消費税率引き上げ時と比べると（業況判断BSI 2014年1～3月→4～6月期：20→△17（△37ポイント））、悪化の度合いは小幅である。

一方、明年1～3月期の予想は、10～12月期に比べ、売上げBSI（△23→△5）、収益BSI（△28→△9）、業況判断BSI（△27→△9）はともに改善する見通しである。今回の消費税率引き上げに際してさまざまな施策が実施されていることもあって、反動減による需要の縮小は長期化せず短期間のうちに落ち着き、自社の業況が引き上げ前の水準へ早期に回復すると見込む企業が少なからずあることが示されている。

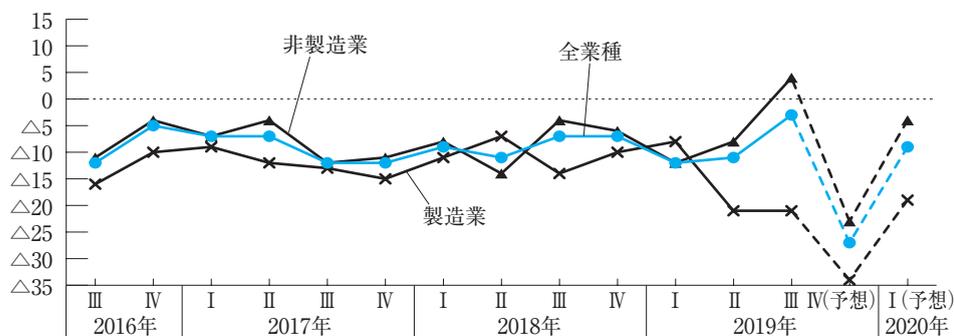
(1) 売上げBSI



(2) 収益BSI



(3) 業況BSI



2. 製造業の動向

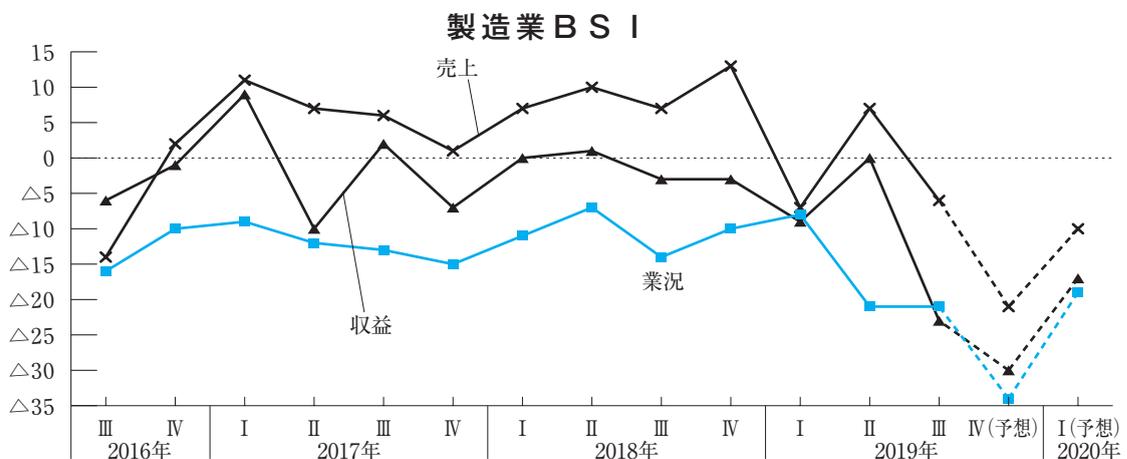
【製造業の現状】 業況判断は横ばいだが、売上げ・収益 BSI は悪化

当期は、前期と比べ、売上げ BSI (7 → △6)、収益 BSI (0 → △23) は悪化した一方、業況判断 BSI (△21 → △21) は横ばいとなった。海外経済減速などの影響を受けている機械・金属、軽減税率が適用され駆け込み需要があまりみられなかった食料品などで売上げ・収益 BSI の横ばいや悪化が目立ち、業況判断 BSI の水準に近づいた結果となった。

【先 行 き】 業況判断は、10～12月期は悪化の一方、10～12月期は改善の見通し

10～12月期の予想をみると、当期に比べ、売上げ BSI (△6 → △21)、収益 BSI (△23 → △30)、業況判断 BSI (△21 → △34) はともに悪化した。続く明年1～3月期の予想は、10～12月期に比べ、売上げ BSI (△21 → △10)、収益 BSI (△30 → △17)、業況判断 BSI (△34 → △19) はともに改善する見通し。

先行きの業況判断をみると、10～12月期は海外経済減速、米中貿易摩擦や消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動減から悪化を見込む企業が多い一方で、年明け以降は消費税率引き上げの影響が徐々に剥落すると考える企業が少なからずあることも示されている。



3. 非製造業の動向

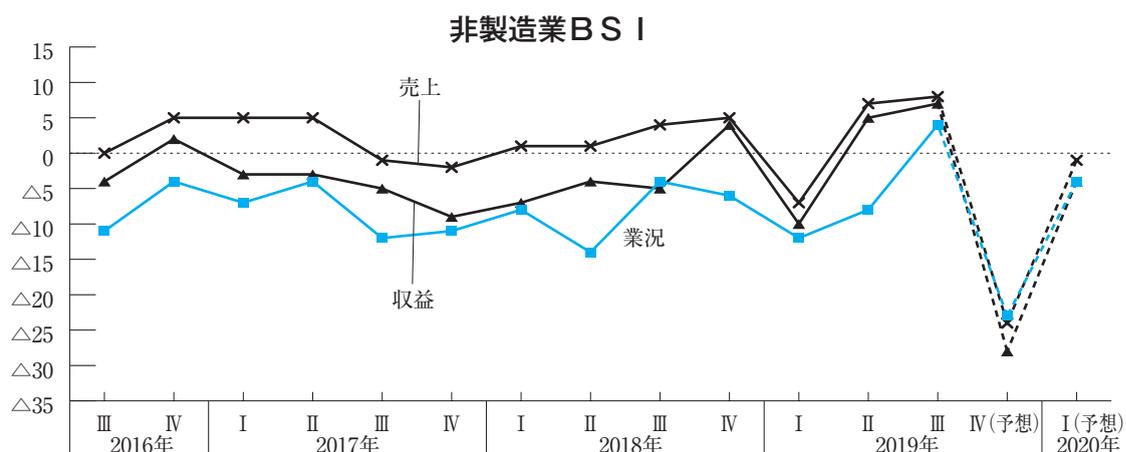
【非製造業の現状】 業況判断は改善

当期は、前期に比べ、売上げ BSI (7 → 8) はほぼ横ばいだが、収益 BSI (5 → 7) はやや改善、業況判断 BSI (△8 → 4) も改善した。消費税率引き上げ前の駆け込み需要により小売業での改善が目立つほか、建設業での改善も全体をけん引した。

【先 行 き】 業況判断は10~12月期は大きく悪化する一方、1~3月期は大きく改善する見通し

10~12月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI（8→△24）、収益BSI（7→△28）業況判断BSI（4→△23）はともに大きく悪化する見通し。消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などから、卸売業、小売業で需要が下押しされると予想する企業が多いことが示されている。

明年1~3月期の予想は、10~12月期予想に比べ、売上げBSI（△24→△1）、収益BSI（△28→△4）、業況判断BSI（△23→△4）はともに大きく改善する見通し。消費税率引き上げ前の駆け込み需要による反動減は短期間にとどまる、と予想する企業が多いことが示されている。

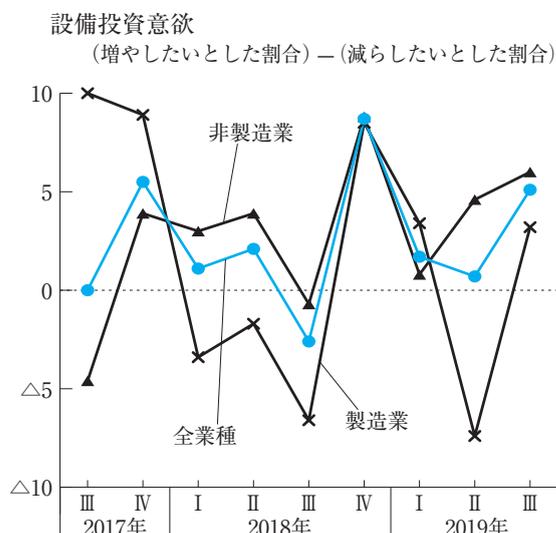


4. 設備投資の動向

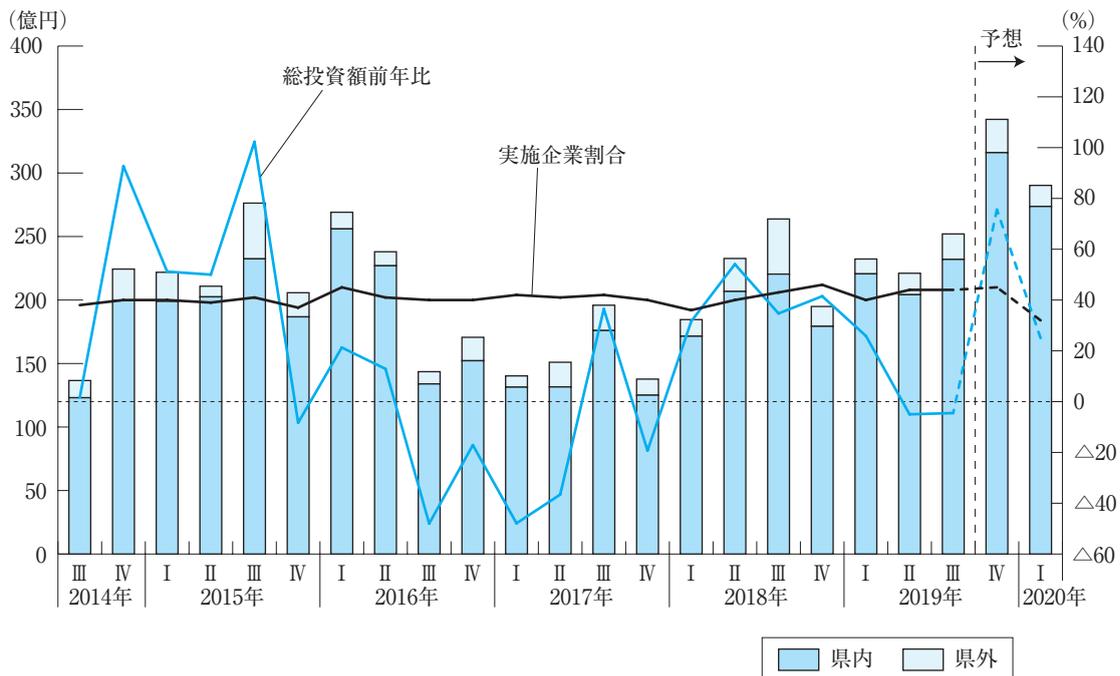
回答企業（全産業）のうち、2019年7~9月期において1百万円以上の設備投資（新リース契約を含む）を実施した企業は全体の44.4%、総投資額は252億3百万円（県内投資額は231億99百万円）であった。前年同期と比較すると、総投資額は、製造業はやや増加したものの、非製造業が減少し、全体では4.5%減となった（前期比では14.0%増）。実施企業の割合は、0.9ポイント上昇した。

先行きの計画をみると、10~12月期の実施企業割合は45.4%で前年同期より0.8ポイント低下する一方、総投資額は約342億円で前年同期比75.6%増となる見込み。また、明年1~3月期の総投資額は、約290億円で同25.0%増の見込みである。

今後1年間の設備投資欲（全産業）は、「増やしたい」が18.4%、「減らしたい」が13.3%、「ほぼ変わらない」が68.4%となった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率（+5.1ポイント）は、前期（+0.7ポイント）と比べ上昇している。



設備投資額（支払ベース）



製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、55.6%で前年同期より0.6ポイント上昇した。総投資額は、232億60百万円(前年同期227億91百万円)で、大手化学の増加を主因として前年同期比2.1%増となった。うち、県内投資額は215億68百万円(同209億44百万円)となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「増産・拡販のため」の比率が上昇、「合理化・省力化」がほぼ横ばい的一方、「既存設備の補修更新」、「研究開発」はやや低下した。

先行きの計画を見ると、10～12月期の総投資額は約305億円で前年同期比74.6%増、また明年1～3月期は約259億円で同22.1%増の見込みである。

今後1年間の投資意欲について、「増やしたい」とする企業割合(22.2%)が「減らしたい」(19.0%)を3.2ポイント上回り、この差は3期ぶりに上昇した。

非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、39.1%で前年同期より0.9ポイント上昇した。総投資額は、19億43百万円(前年同期35億90百万円)で、前年同期に海運業で大型投資があったことの影響により同45.9%減となった。県内投資額は16億31百万円(同10億97百万円)となっている。

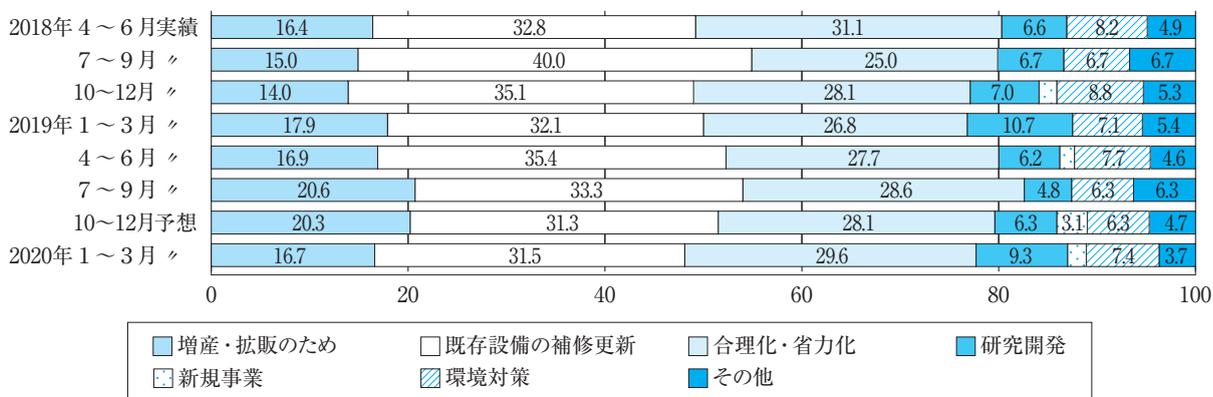
目的別にみると、前期と比べ、「既存設備の補修更新」の比率が低下、「拡販のため」がやや低下の一方、「合理化・省力化」は上昇した。

一方、先行きの計画を見ると、10～12月期の総投資額は約37億円で前年同期比84.3%増、明年1～3月期も約32億円で同54.2%増となる見込みである。

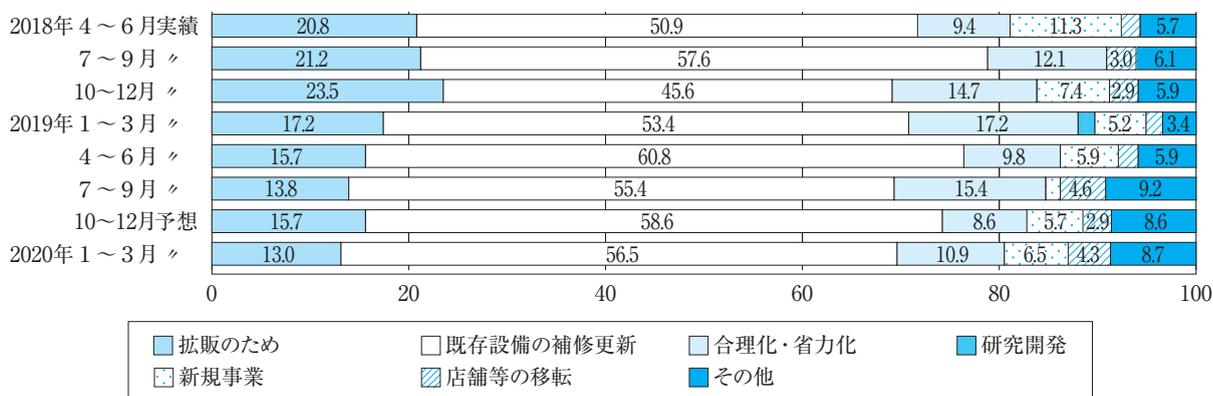
今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」とする企業割合(16.5%)が「減らしたい」(10.5%)を6.0ポイント上回り、この差は2期連続で上昇した。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	0	0	0
	1～3百万円未満	0	0	0
	3～5百万円未満	3	0	3
	5～10百万円未満	5	1	4
	10～50百万円未満	110	31	79
	50～1億円未満	46	18	28
	1億円以上	32	13	19
	計	196	63	133
従業員数	10人未満	21	5	16
	10～30人未満	41	13	28
	30～50人未満	38	11	27
	50～100人未満	37	4	33
	100～200人未満	26	10	16
	200～300人未満	13	9	4
	300～	20	11	9
計	196	63	133	

		(社)	
		業種	回答
製造業	食料品		11
	繊維製品		4
	木材・木製品		10
	パルプ・紙		3
	化学工業		8
	窯業・土石		4
	機械・金属		17
	その他		6
	計		63
非製造業	建設業		18
	運送業		13
	卸売業		36
	小売業		27
	サービス業		38
	その他		1
計		133	
総数		196	

参考資料

B S I

(1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2018年1～3月実績	13	61	26	△13	△9	14	55	31	△17	△11	12	64	24	△12	△8
4～6月々	12	61	27	△15	△11	13	69	18	△5	△7	11	58	31	△20	△14
7～9月々	10	67	23	△13	△7	8	64	28	△20	△14	11	68	21	△10	△4
10～12月々	21	65	14	7	△7	19	62	19	0	△10	22	66	12	10	△6
2019年1～3月々	11	62	27	△16	△12	12	62	26	△14	△8	12	60	28	△16	△12
4～6月々	14	56	30	△16	△11	9	63	28	△19	△21	17	52	31	△14	△8
7～9月々	15	61	24	△9	△3	8	57	35	△27	△21	19	61	20	△1	4
10～12月予想	13	61	26	△13	△27	10	55	35	△25	△34	15	63	22	△7	△23
2020年1～3月々	10	67	23	△13	△9	8	60	32	△24	△19	11	69	20	△9	△4

(2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2018年1～3月実績	28	38	34	△6	2	29	34	37	△8	7	27	41	32	△5	1
4～6月々	30	35	35	△5	4	32	46	22	10	10	29	30	41	△12	1
7～9月々	28	46	26	2	4	32	41	27	5	7	27	48	25	2	4
10～12月々	47	33	20	27	8	49	31	20	29	13	46	34	20	26	5
2019年1～3月々	24	36	40	△16	△7	21	36	43	△22	△7	26	35	39	△13	△7
4～6月々	32	35	33	△1	7	33	41	26	7	7	31	32	37	△6	7
7～9月々	28	45	27	1	3	22	48	30	△8	△6	31	44	25	6	8
10～12月予想	24	48	28	△4	△23	25	45	30	△5	△21	23	51	26	△3	△24
2020年1～3月々	17	52	31	△14	△5	13	49	38	△25	△10	20	53	27	△7	△1

(3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2018年1～3月実績	23	43	34	△11	△5	27	37	36	△9	0	21	46	33	△12	△7
4～6月々	24	41	35	△11	△3	27	46	27	0	1	23	39	38	△15	△4
7～9月々	20	50	30	△10	△6	22	50	28	△6	△3	20	49	31	△11	△5
10～12月々	43	35	22	21	3	41	28	31	10	△3	44	38	18	26	4
2019年1～3月々	22	40	38	△16	△10	19	43	38	△19	△9	23	39	38	△15	△10
4～6月々	29	39	32	△3	4	30	40	30	0	0	28	39	33	△5	5
7～9月々	25	42	33	△8	△3	16	43	41	△25	△23	29	42	29	0	7
10～12月予想	19	52	29	△10	△28	17	48	35	△18	△30	20	54	26	△6	△28
2020年1～3月々	15	55	30	△15	△9	10	53	37	△27	△17	18	55	27	△9	△4

(注) B S I = (好転) - (悪化)